

社会保障

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 秋山 武吉

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集
『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 7 社会保障』中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

現代社会において、社会保障制度は私達の生活と密接な関係を有している。病気や事故、出産、子育て、障害、失業、老年等社会的支援が必要な場合に、医療保険制度・介護保険制度・労働保険制度・介護保険制度・年金保険制度・社会福祉制度等により、私達の生活の保障や安心が確保されている。社会福祉士とは「専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保険医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」と定められている(社会福祉士及び介護福祉士法)。精神保健福祉士とは「精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行う事を業とする者」と定められている(精神保健福祉士法)。そこで専門的知識及び技術としての社会保障に対する知識を習得することを本講義の目的とする。(DP1, 2, 4)

到達目標

国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有することは、福祉国家の不可欠な条件であり、この生存権は社会権の基礎にあたる。この生存権に対応して、「すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と憲法第25条に規定されている。社会保障制度は私たちの生活において密接不可分な関係にあることを、病気や事故、障害、失業、高齢化社会等を通じて、理解し説明できるようにする。

評価方法

科目単位認定試験により評価する。

学習指導

第1章 現代社会と社会保障

この章のポイント

人口動態の変化・経済環境の変化・労働環境の変化を整理して、社会保障の現代的課題を考察する。

- 第1節 人口動態の変化
- 第2節 経済環境の変化
- 第3節 労働環境の変化

第2章 社会保障の概念や対象およびその概念

この章のポイント

社会保障の機能と範囲・社会保障の役割と意義・社会保障の対象・社会保険の歴史的な展開を考察する。

- 第1節 社会保障の概念と範囲
- 第2節 社会保障の役割と意義
- 第3節 社会保障の理念
- 第4節 社会保障の対象
- 第5節 社会保障の展開

第3章 社会保障の財政

この章のポイント

社会保障制度全体でみた収入と支出、我が国の経済のなかでみた社会保障、その経済効果、税や社会保障の財政負担の指標である国民負担率を考察する。

- 第1節 社会保障の財政
- 第2節 社会保障給付費・内訳・動向
- 第3節 国民負担率
- 第4節 社会保障と経済

第4章 社会保険・社会扶助・民間保険の関係

この章のポイント

社会保険・社会扶助・民間保険の特徴を十分に理解し、制度活動と問題改善を考察する。

- 第1節 保険と扶助の考え方
- 第2節 体險と扶助の考え方
- 第3節 社会保障と社会扶助の考え方
- 第4節 社会保障と民間保険の現状

第5章 社会保障の体系

この章のポイント

社会保障の各制度の概要を理解する。医療保険について、健康保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度の体系を理解し、その負担と給付の仕組みを理解する。介護保険について、社会保障としての負担と給付を理解する。年金・労働保険についても考察する。

- 第1節 医療保険制度の概要
- 第2節 介護保険の概要
- 第3節 年金制度の概要
- 第4節 労災保険制度と雇用保険制度の概要
- 第5節 生活保護制度の概要
- 第6節 社会手当制度の概要
- 第7節 社会福祉制度の概要

第6章 諸外国における社会保障制度

この章のポイント

グローバル化している世界にあつて、国際社会の動向は国内政策にますます強い影響力を及ぼしている。社会福祉士・精神保健福祉士としても福祉の現場で起きていることの社会的背景を理解する。

- 第1節 諸外国の社会保障
- 第2節 社会福祉の国際比較
- 第3節 社会保障の国際化